

大竹保育所改修設計業務（基本設計）について

1 概要 別紙 1

- (1) 令和 4 年度当初予算において設計業務委託料を予算化
- (2) 大竹中学校プール解体を踏まえ学校敷地の活用と周辺環境の改善について、下記の計画案を決定
 - ・大竹保育所の出入口を現在の東栄中市線側から白石元町 1 号線（大竹中学校）側に変更
 - ・白石元町 1 号線の拡幅改修も含めた整備
 - ・大竹中学校駐車場スペースのレイアウト変更、保育所送迎用駐車場の一部として整備
- (3) 上記協議に時間を要したため、設計業務委託料の繰越明許費補正予算案を令和 4 年 9 月市議会定例会に提出し、議決済
- (4) 令和 4 年 11 月 7 日に業者決定し、現在、基本設計及び実施設計業務を実施中

2 改修工事の基本的事項

- (1) 内・外装、照明・給排水・空調設備等の全面的なリニューアルを含めた大規模改修
- (2) 大竹中学校側に事務所棟を増築
- (3) 大竹中学校駐車場スペースの一部を保護者送迎用駐車場として活用

3 改修計画図（配置図及び平面図、立面図、外観パース） 別紙 2 ～ 6

【1 階】

- 事務所棟を木造平屋建とし、事務室から園庭及び保育室を見渡せる配置とする。事務所棟に、会議室、教材庫、倉庫等を設ける。
- 大竹中学校側に概ね 8 m × 8 m のトラックを設ける。
- 保育室の配置を事務室側から 2 歳クラス、3 歳クラス、4 歳クラス、5 歳クラスとし（クラスを入れ替える）、2 歳クラス内に便所を設ける。
- 元事務室を多目的保育室とし、保育スペース（将来的には支援児に対するサービス等の利用も検討）として活用する。
- 給食室の床面積を約 64 m² から約 90 m² に増やし、調理器具の更新、設備の改修を行い、衛生面の向上を図るため、ドライ方式に変更する。
- 園庭の遊具もすべて更新する。（総合遊具、ブランコ、砂場を設ける。）
- プールを撤去し、水浴びテラスとして整備する。
- 開放廊下の屋根を更新し、事務所棟とつなぐ。
- メインの出入口を大竹中学校側、現在の出入口をサブとし、両方からの出入り可能とする。セキュリティ確保のため電子錠をメイン・サブの出入口両方に設ける。
- 大竹保育所敷地内にある防災行政無線設備を白石元町 1 号線側南端から北端に移設する。

【2 階】

- 保育の利便性を高めるため、便所配置を見直すほか、衛生面の向上を図るため、ドライ方式に変更する。
- 乳児室の脱衣・浴室（沐浴部分）を廃止し、調乳室の拡大、ユーティリティースペース設ける等のレイアウトを変更する。

4 今後のスケジュール（予定）

- ～ R 6 . 3 改修設計業務（基本設計・実施設計）完成
- R 6 . 4 本町保育所を大竹保育所へ統合
- R 6 . 10 頃～ 改修工事（工期約 1 年） ※工事期間中は本町保育所で保育を行う。
- R 8 . 2 頃 改修後の大竹保育所での保育開始